

教科・領域【 工業 】 科目【 情報技術基礎 】

学科・コース	電子機械科	学 年	第 1 学年	単位数	2 単位
--------	-------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

<p>社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解するとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、情報及び情報手段を活用する能力と態度を身に付けます。</p>

2 使用する主な教材等

<p>(1) 使用教科書, 副教材等 情報技術基礎(実教出版) 3級 パソコン利用技術検定試験 演習問題集(全国工業高等学校長協会) 3級 情報技術検定試験 標準問題集(全国工業高等学校長協会)</p>
<p>(2) 授業で配布するもの 補足プリント</p>

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科等との関連等)	考査範囲等
一 学 期	第1章 産業社会と情報技術	4	○コンピュータの発達と利用例, 情報化の進展が産業社会に及ぼす影響・情報化社会のモラルと管理などについて理解させる。		中間範囲
	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア	5	○コンピュータの基本的取り扱いや, パソコン利用技術検定テキストと関連させながら進める。 またオペレーティングシステムとアプリケーションソフトウェアの基本的な利用方法などを習得させる。		
	第3章 プログラミングの基礎	6 7	○コンピュータにいろいろな処理をさせるために必要なプログラム言語やアルゴリズムについて理解させる。	情報技術検定テキストの演習問題と関連させながら進める。	
<p>《課題・提出物等》 情報技術検定試験標準問題集による演習課題の提出。 パソコン利用技術検定における実技演習課題の提出。</p>					
<p>《1学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに、中間考査、期末考査の成績で概ね80%, 授業態度・提出物・積極性、出席状況等学習活動への参加・態度などで概ね20%の配分で行います。</p>					

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科等との関連等)	考查範囲等
二 学 期	第4章 BASICによるプログラミング	9	○初心者向きのプログラミング言語であるBASICを用いたプログラミングについて理解させる。	情報技術検定テキストの演習問題と関連させながら進める。 パソコン利用技術検定テキストを中心に進める。	中間範囲 期末範囲
	第6章 ハードウェア	10 11	○2進数, 10進数, 16進数について理解させ, 相互変換が可能になり, 2進数の四則演算についても理解させる。		
	第7章 コンピュータネットワーク	12	○遠く離れた場所と情報のやりとりや, データ・周辺機器の共有の仕組みを理解させるとともに, パソコン利用技術検定3級に向けて練習に取り組む。		
《課題・提出物等》 情報技術検定における演習課題の提出。 パソコン利用技術検定における実技演習課題の提出。					
《2学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに, 中間考查、期末考查の成績で概ね80%, 授業態度・提出物・積極性、出席状況等学習活動への参加・態度などで概ね20%の配分で行います。					
三 学 期	第8章 コンピュータ制御	1 2	○コンピュータを用いた制御に必要な入出力インターフェースおよび, 家庭電化製品や自動車などの制御に利用される組込みシステムの例を理解させるとともに, 情報技術検定3級に向けて練習に取り組む。	情報技術検定テキストを中心に進める。	学年末範囲
	第9章 情報技術の活用	3	○文字・音声・静止画像・動画像などの情報を統合したマルチメディアの技術と, 情報の収集・発表・文書化の方法など, 情報技術の活用について理解させる。		
	《課題・提出物等》 実技演習課題の提出。				
《3学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに, 学年末考查の成績で概ね80%, 授業態度・提出物・積極性、出席状況等学習活動への参加・態度などで概ね20%の配分で行います。					
《年間の学習状況の評価方法》 1学期、2学期、3学期の平均。					